

TOTO

レストルームドレッサー セレクトシリーズ Sサイズ(角形)ブラケットタイプ

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

下記商品の取り付けは、各商品に同梱の施工説明書を参照してください。
自動水栓・バックパネル・タオル掛け(壁付タイプ)・化粧鏡

安全上のご注意 安全のために必ずお守りください。

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。



警告

誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。








必ず実行していただく「強制」の内容です。

 警告	 分解禁止	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因となります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。
	 アース接地	アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。	 水場使用禁止	浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない 火災や感電の原因となります。 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。
	 禁止	水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因となります。	電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいままで使用しない 火災や感電の原因となります。	
		指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因となります。	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因となります。	
		電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。	給水および排水管の真下部にコンセントを設置しない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	
		屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。	器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	
雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因となります。		コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。		

UGX1054Y



 警告  必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因となります	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏を補強する 商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。
	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。
	取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。
	商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。 コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。	機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。

 注意  必ず守る	 禁止	商品に強い力や衝撃を与えない 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	給水ホースが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の原因となります。
	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。	
	推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。	
	ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 商品が破損し、けがをする原因となります	手洗器等、器具周囲のすきま処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 水が浸入し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	
	設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	
工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。		
凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。			

取り付け前のご注意

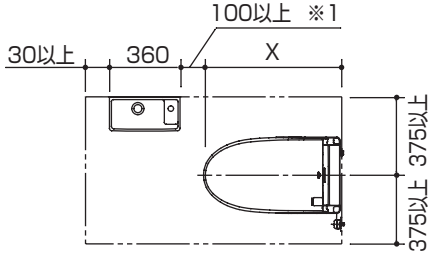
設置寸法 (下図の設置寸法に従って施工する)

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。

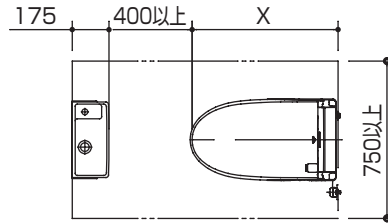
設置される大便器の前出寸法 X によってトイレの必要寸法が異なりますので、ご注意ください。

トイレスペースの奥行寸法に応じて、紙巻器や手すりなどの使い勝手に配慮した適切な位置に手洗器を設置してください。

側面設置の場合



対面設置の場合

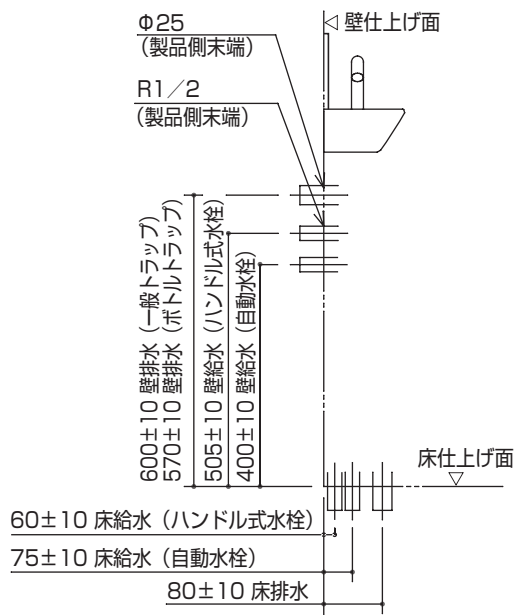


※1 お客様の使い勝手上、100 mm以上確保することにより、快適にお使いいただけます。確保できない場合は、個人差により手洗器への身体の接触や圧迫感を感じる場合があります。

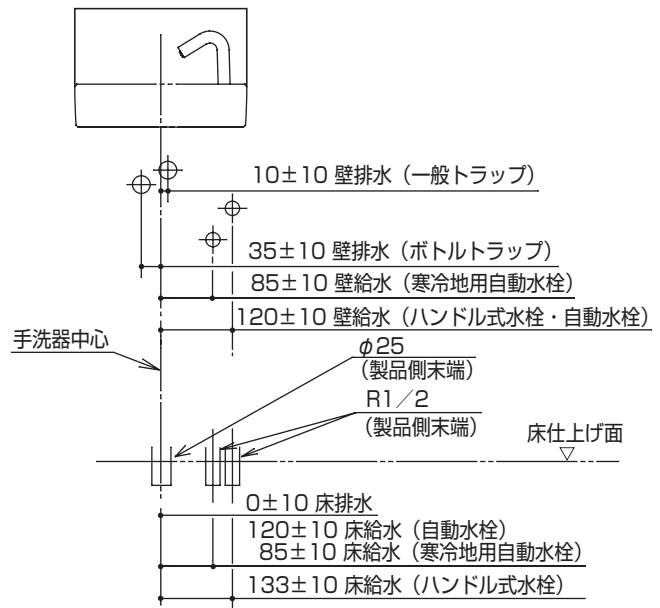
給排水取出位置

- ・設備側給排水管の取り出しは壁・床仕上げ面同一にする。
- ・左勝手、右勝手とも給排水位置は共通です。
- ・手洗器の給水圧力範囲は、0.05MPa (流動時) ~0.75MPa (静止時) です。この圧力範囲であることをご確認ください。

<側面>



<正面>



警告

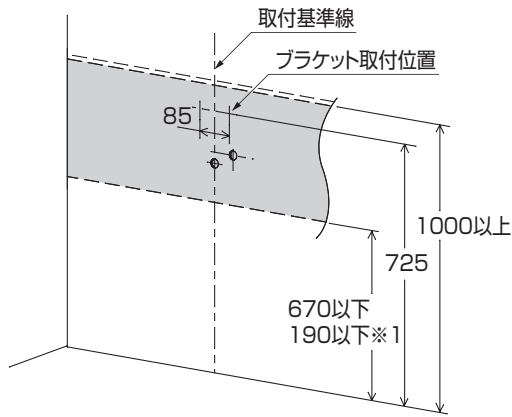


器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない

火災や感電・水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

補強材 (必ず入れる)

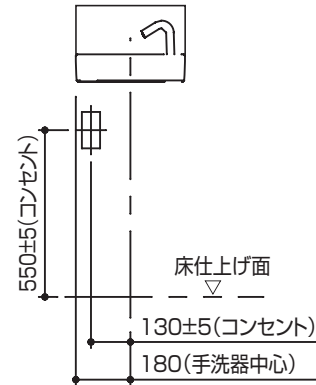
- ・手洗器およびカウンター、周辺部材の壁固定ねじ取り付け位置には、施工前に補強材として普通合板t12以上を壁面に入れておいてください。JAS規格相当品を使用してください。
- ・タイル、コンクリート壁の場合は、壁固定位置に下穴をあけ、コンクリート用プラグ(現場手配)を打ち込んでおいてください。



※1 電気温水器ありの場合

電気配線 (自動水栓・電気温水器付自動水栓の場合)

- ・自動水栓・電気温水器付自動水栓をセットする場合、あらかじめ下図の位置に壁埋込式コンセント(電気温水器付自動水栓の場合は接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセント)を設置してください。
- ・定格消費電力:自動水栓(常時0.4W(作動時0.6W))、電気温水器(約505W)
- ・定格電源:AC100V 50/60Hz



警告



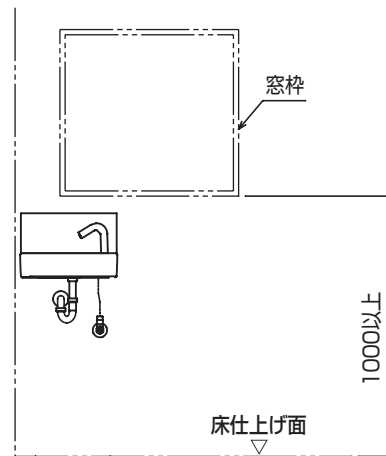
禁止

器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない

火災や感電・水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

窓枠について

- ・窓がある場合、下図のような制約が付きます。事前に製品と干渉しないように注意してください。
- ・周辺部材(鏡・手すり・石けん受けなど)の取り付けに関しては各説明書をご参照ください。



必要工具

一般水道工事に使う工具以外に、右記の工具を用意してから施工を始めてください。



シリコン系
シール剤



スタビ
ドライバー
#2ビット



電動ドライバー
#2ビット
(65mm・200mm)
電動ドリル用キリ
φ3、φ4



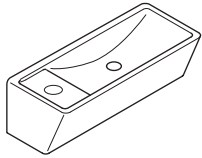
ドライバー
(フィルター清掃用)

部品の確認

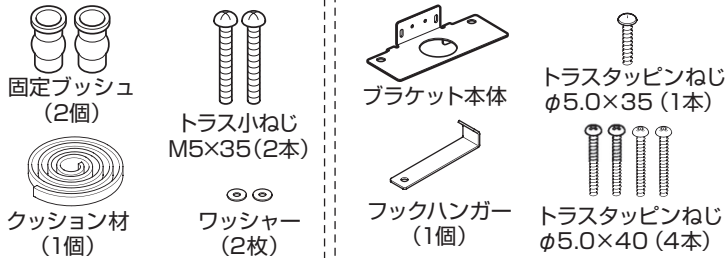
専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。

包装箱1：水栓金具他

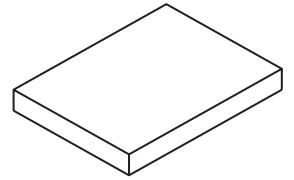
手洗器



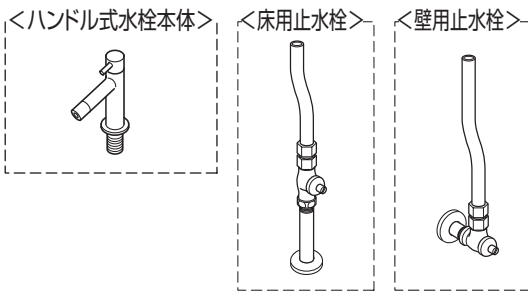
手洗器固定金具セット



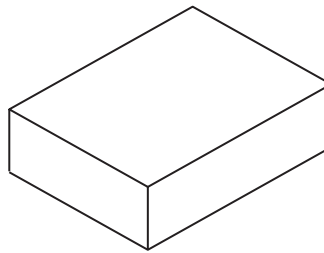
バックパネル



ハンドル式水栓

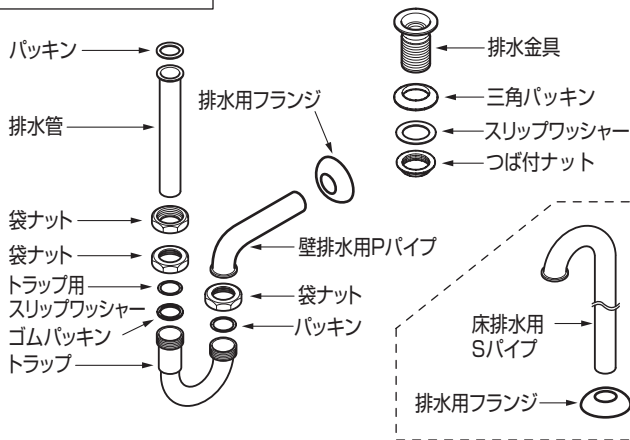


自動水栓

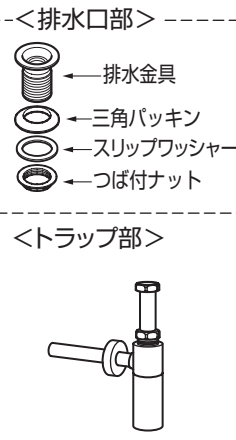


排水金具

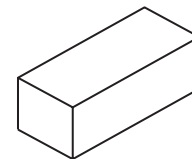
壁用（一般）・床用



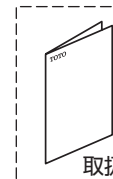
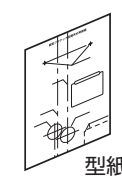
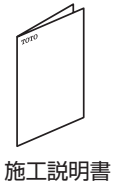
壁用（ボルトトラップ）



タオル掛け（壁取付タイプ）

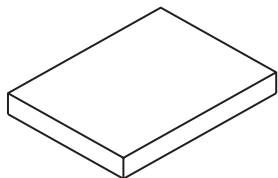


説明書

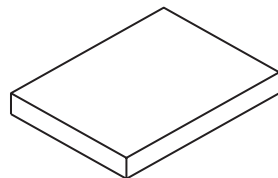


包装箱2：化粧鏡（化粧鏡付の場合）

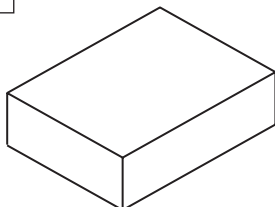
木製フレームタイプ



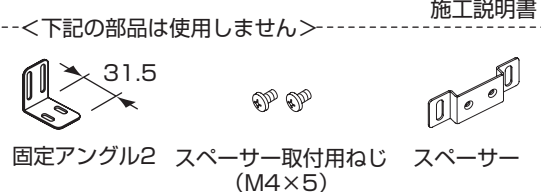
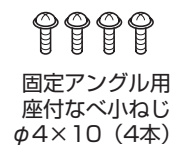
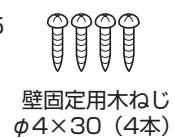
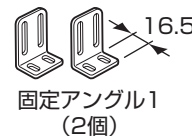
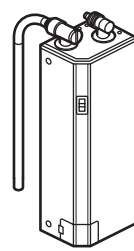
アルミフレームタイプ



埋込収納タイプ




包装箱3：電気温水器（電気温水器付の場合）



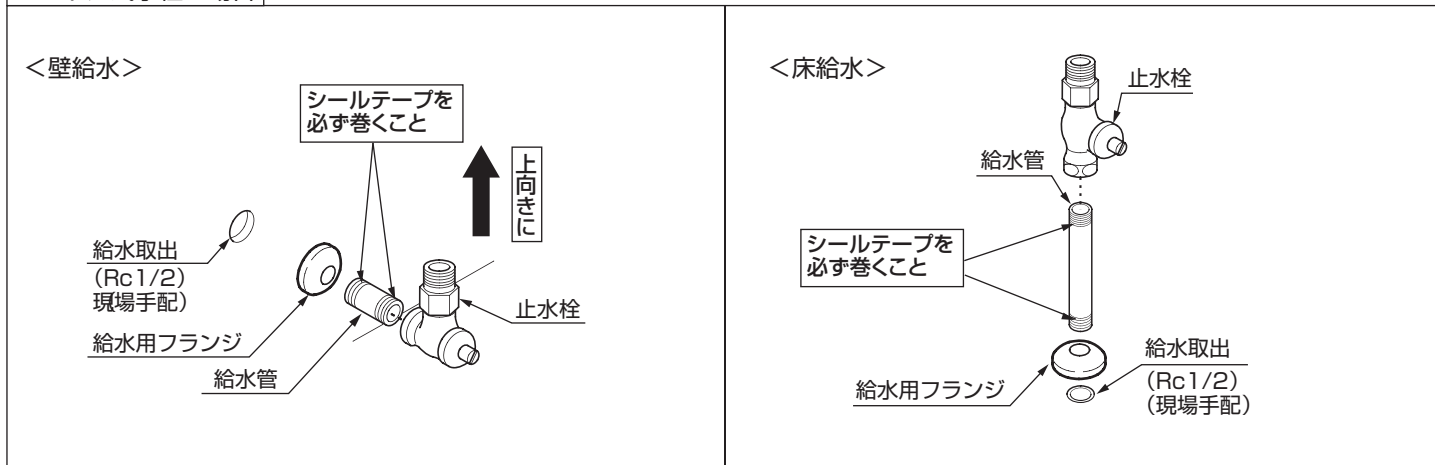
取り付け方法

1 止水栓の取り付け

 自動水栓の取り付けは、自動水栓に同梱の施工説明書を参照してください。

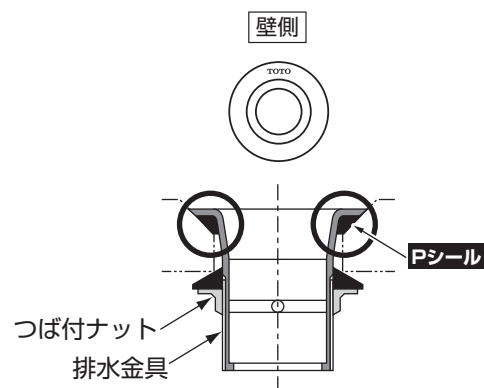
給水管にシールテープを巻き、給水取出口にねじ込みます。

ハンドル式水栓の場合



2 手洗器の取り付け

(1) 排水金具の取り付け



○印のつば裏全周にPシールを塗布し、排水金具を手洗器にセットします。
(TOTOマークは壁側に向ける)

⚠ 注意

つば裏全周にPシールを塗布する
必ず守る
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります

次に、つば付ナットを締めます。

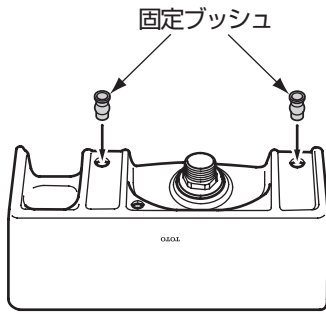
ポイント

締め付け力の目安としては、手締めで止まる位置まで回し、
工具にて半回転締め付けるくらいが適切です。

⚠ 注意

つば付ナットを締め過ぎない
禁止
手洗器が破損し、けがの原因となります

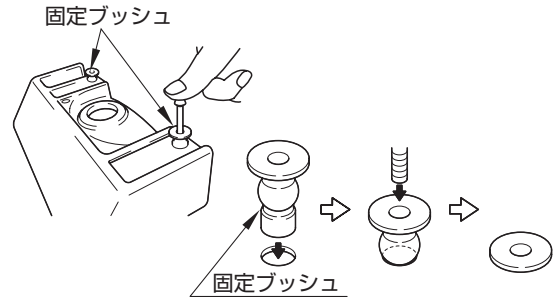
(2) 手洗器固定金具の取り付け



手洗器の裏面の穴に固定ブッシュを取り付けます。

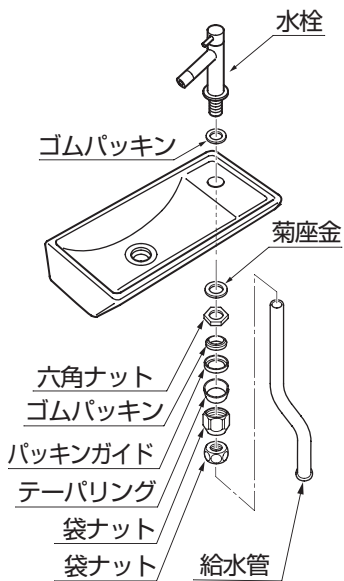
ポイント

取付けねじで押すと容易に挿入できます。



(3) 水栓金具の取り付け

<ハンドル式水栓の場合>

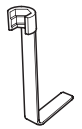


①左図のように水栓を手洗器に取り付けます。

👉 自動水栓の取り付けは、自動水栓に同梱の施工説明書を参照してください。

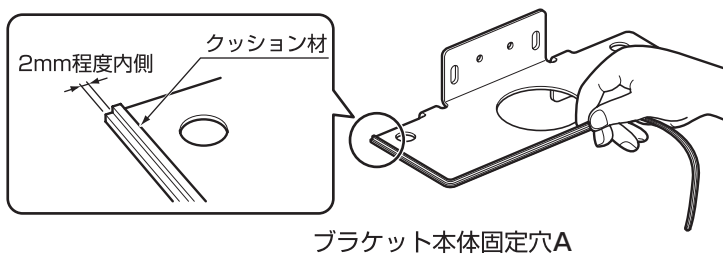
ポイント

六角ナットの締め付けにTZ工具 (TZY15N別売品) を使用すると作業がしやすくなります。



②左図のように給水管を水栓に仮固定します。
(ハンドル式水栓の場合)

(4) ブラケットの取り付け



①ブラケット本体の縁から2mm程度内側にクッション材を貼り付けます。

※クッション材は引っ張らないようにご注意ください。

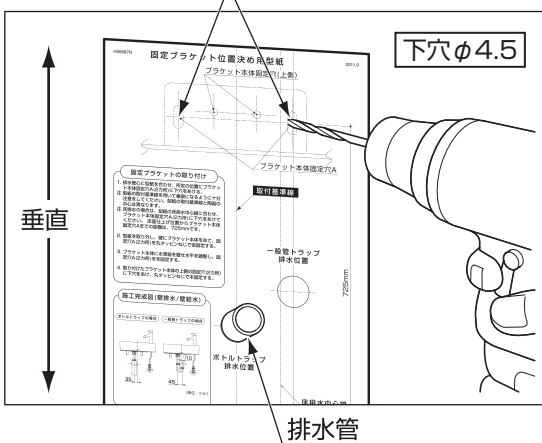
②排水管心に型紙を合わせ、ブラケット本体固定穴Aに下穴をあけます。

※型紙の取付基準線を用いて垂直になるように十分注意してください。

※床排水の場合は、型紙を参照し、ブラケット本体固定穴A(2カ所)に下穴をあけてください。

ポイント

壁排水の場合、排水位置はボトルトラップと一般トラップで異なるので同梱の型紙を使って取り付ける



注意



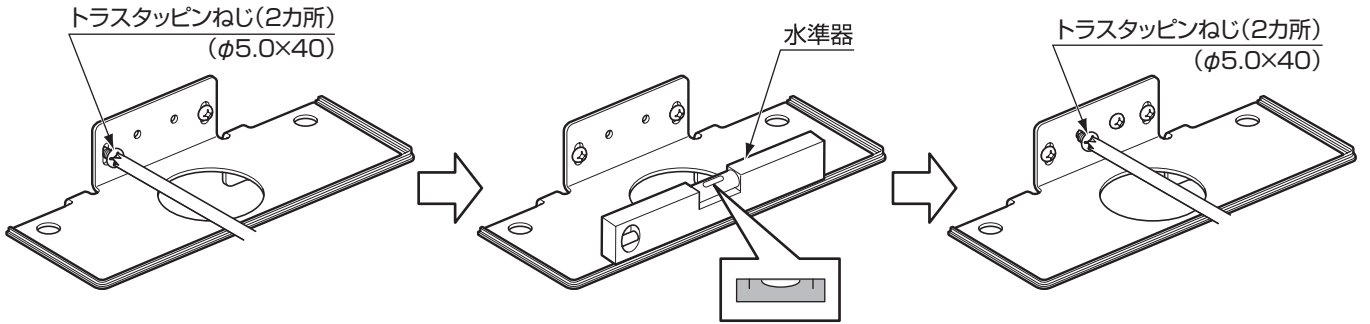
必ず守る

取り付け面がタイル・コンクリートの場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を打ち込んでおく

落下してけがをする原因となります

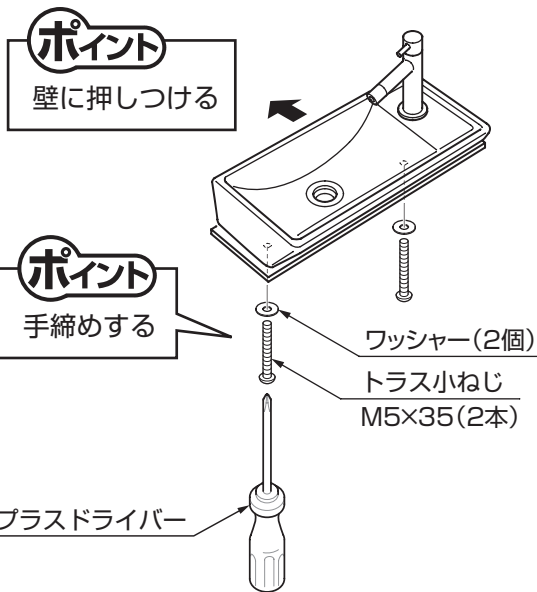
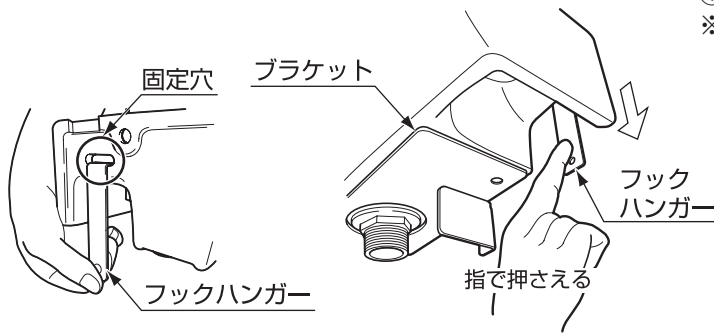
③ ブラケット本体固定穴A (2カ所) をトラスタッピンねじで仮固定し、水準器を用いてブラケット本体の水平を確認します。

※ 水平を確認したあと本固定し、取り付けたブラケット本体固定穴B (2カ所) をトラスタッピンねじで本固定してください。



(5) 手洗器の固定

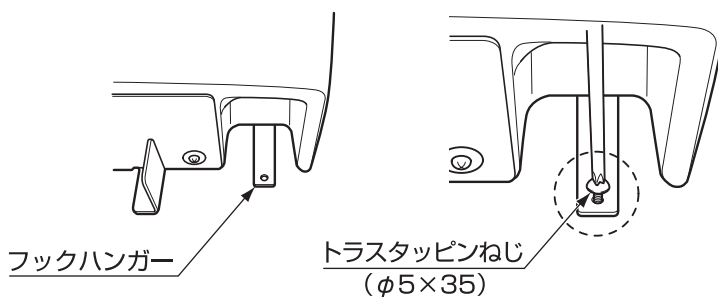
① 陶器背面の固定穴にフックハンガーをかけます。
※ フックハンガーを指で押さえながら手洗器をブラケットにのせます。



② 手洗器を後壁に密着させ、また、ブラケット本体に左右均等に載るように位置を調整し、トラス小ねじで固定します。

※ トラス小ねじは回らなくなるまでしっかり締め付けてください。

③ フックハンガーを同梱のねじで壁にしっかり固定します。



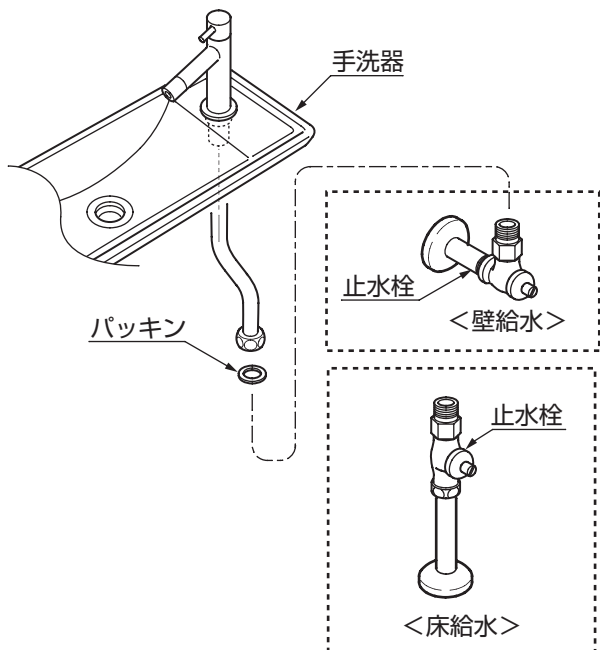
注意

必ず陶器を固定したあとに、フックハンガーを固定する

3 給水管の接続

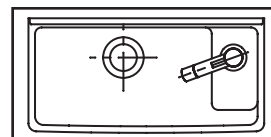
(1) 給水管の接続

ハンドル式水栓の場合



① 給水管の位置を調整し、止水栓と接続します。

② 下図を参照し、吐水口の向きを調整します。



③ 給水管を水栓に本固定します。

自動水栓の場合

👉 自動水栓の取り付けは、製品に同梱の施工説明書を参照してください。

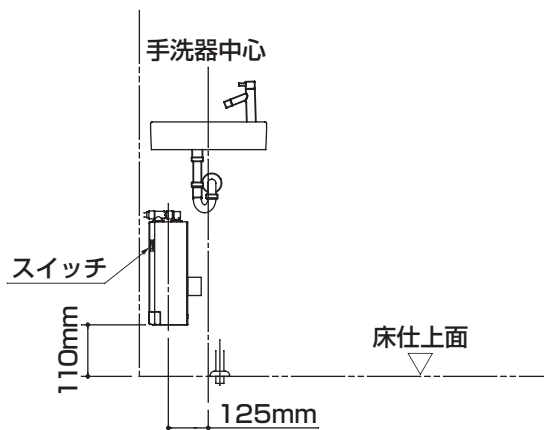
4 電気温水器の取付方法 (電気温水器付き自動水栓の場合)

👉 詳細は電気温水器に同梱の施工説明書を参照してください。
取付位置と機能部の接続については、本説明書を参照してください。

電気温水器の取付位置

電気温水器取付位置 (左勝手、右勝手とも取付位置は共通です。)

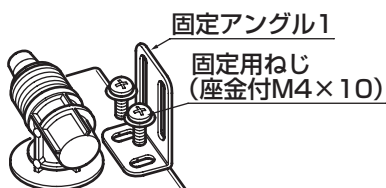
< 壁・床排水 >



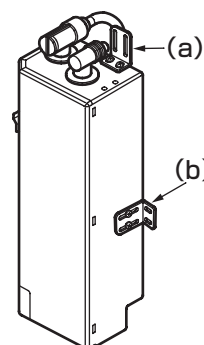
① 同梱の固定アングル1を電気温水器に固定用ねじで固定します。

(a) 上部固定アングル

(b) 下部固定アングル



< 固定アングル本体固定位置 >

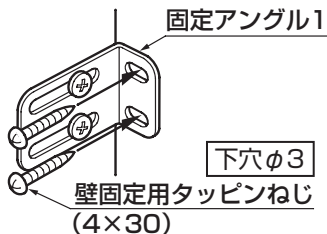
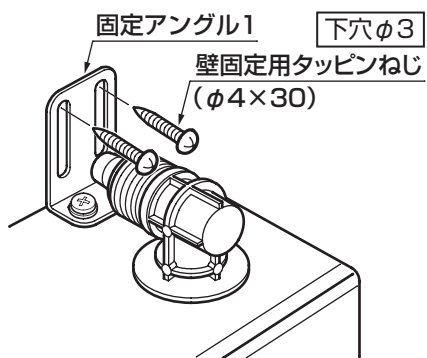


上部の固定アングルは、L字型の短い方を本体に取り付ける。

側面および下部の固定アングルは、L字型の長い方を本体に取り付ける。

②本体を壁固定用木ねじで壁に固定します。（下図参照）

(a) 上部固定アングルへのねじ固定 (b) 下部固定アングルへのねじ固定

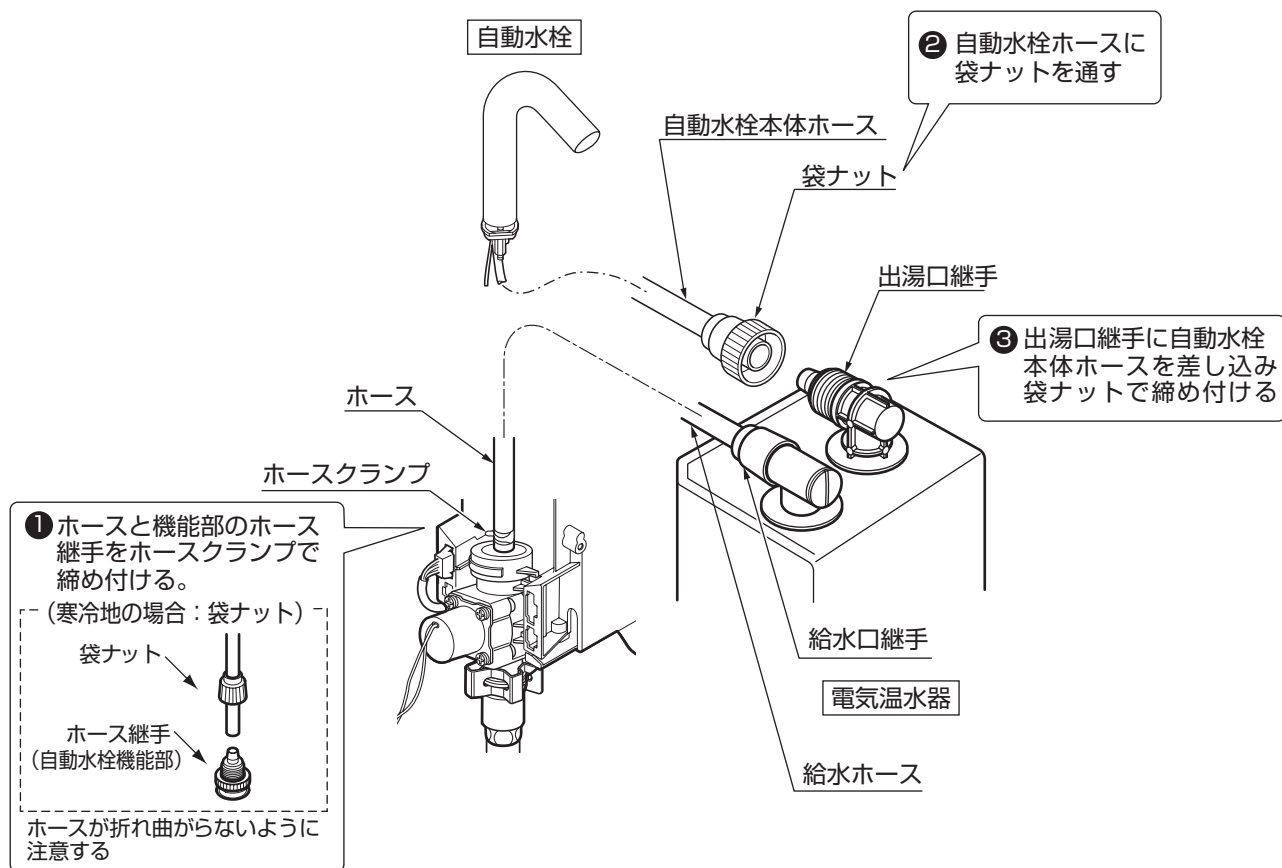


③化粧ラベルの貼り付け

同梱の化粧ラベルで電気温水器本体上部の固定アングル1を取り付けない方の穴に貼り付けてふさぎます。



④電気温水器と自動水栓、自動水栓機能部を下記の手順で取り付けます。

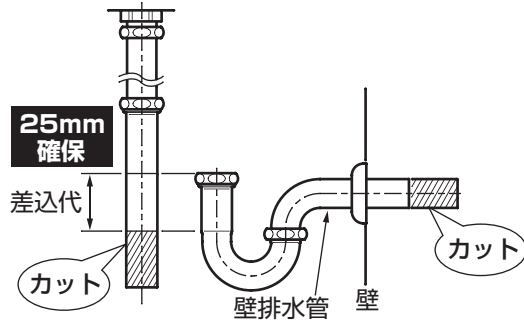


5 排水管の接続

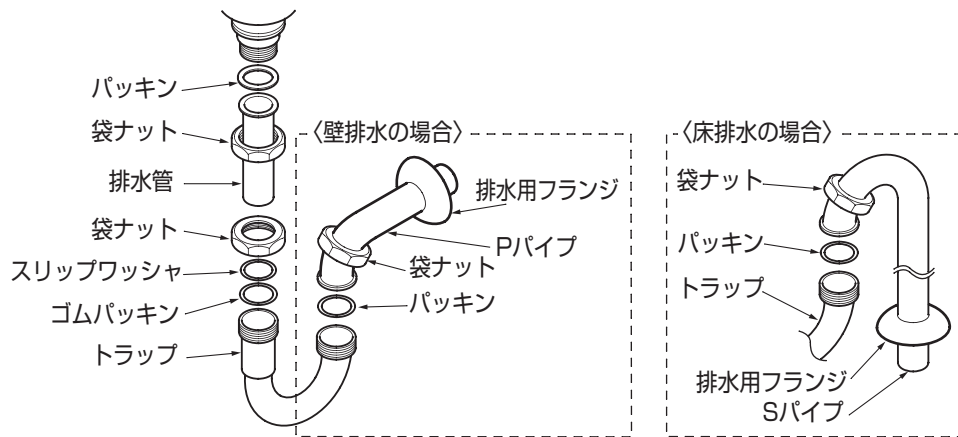
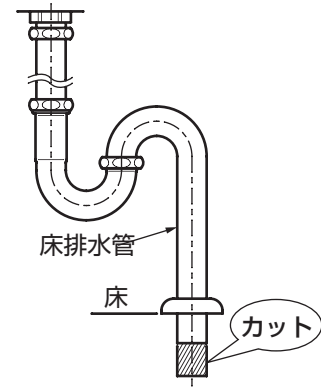
①排水管を排水金具に仮固定し、下図のように余分な長さをカットします。

②排水管を取り付けます。

壁排水



床排水

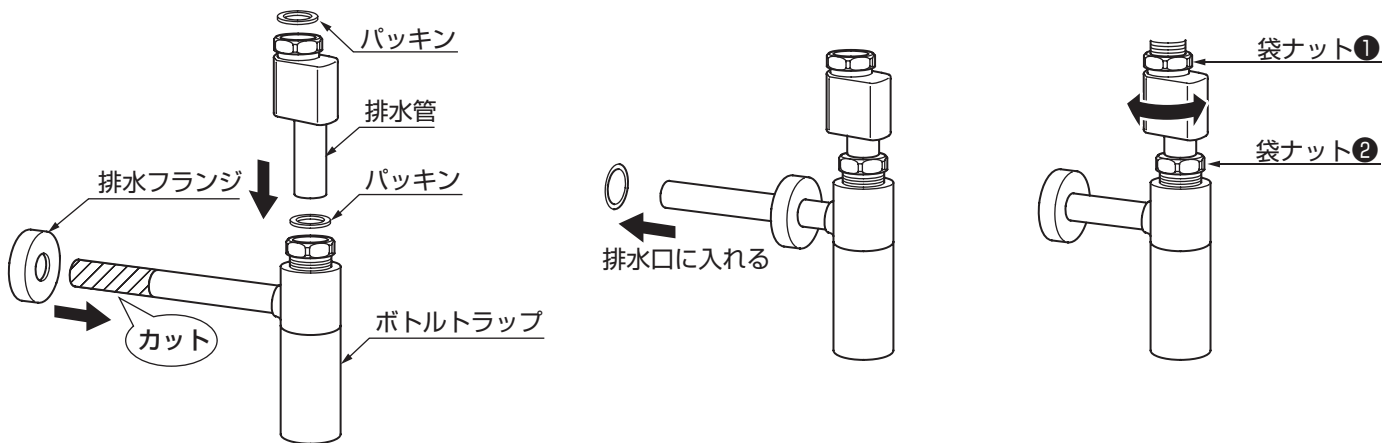


<ボットラップの場合>

①下図のように余分な長さをカットし、ボットラップに排水管と排水フランジを差し込みます。

②ボットラップを排水口(設備側)に差し込みます。


③排水管を回転させて位置を調節し、袋ナット①を排水金具に締付けます。次に袋ナット②を締付けます。



6 バックパネルの取り付け

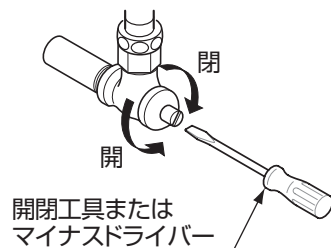
 バックパネルの取り付けは、バックパネルに同梱の施工説明書を参照してください。

7 吐水・水漏れの確認

 自動水栓の試運転・フィルターの清掃は、自動水栓に同梱の施工説明書を参照してください。

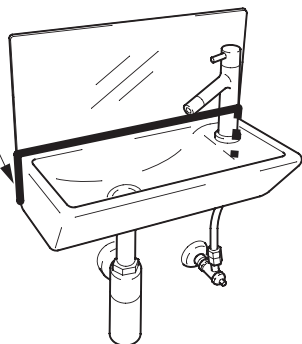
止水栓を開き、給水管や排水管の接続部から水漏れがないか確認します。

ハンドル式水栓の場合



8 シリコン系シーラント(別途手配)の塗布

シリコン系シーラント



シリコン系シーラント を手洗器と壁に接する面および手洗器とバックパネルの間に塗布します。
(左図参照)

※TOTO おすすめシリコン系シーラント (別途手配)
メジール(クリア) : YG903S

⚠ 注意



必ず守る

必ずシリコン系シーラントを塗布すること
水が浸入し、カビの発生の原因となります。

工事店様へ

取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。

